

市民社会スペース NGO アクションネットワーク(NANCiS)
2021年度活動計画

(2021.5.17 世話人会決定)

1. NANCiS 活動目標

本会は、国内外において、市民社会の自由な言論・活動のための社会空間である「市民社会スペース」の自由が保障され、市民社会の自由で創造的かつ積極的な言論・活動が可能となるよう、(1)市民社会スペースの推進とアドボカシー、(2)市民社会スペースに関わる学習・情報交換と NGO の救援、(3)国際協力 NGO と他分野の市民社会組織とのコーディネーション、により市民社会スペースの擁護と拡充に取り組むことを通じて、地球規模課題の解決に寄与し、人権が実質化され民主的な社会の構築に貢献することを目的とする。(規約第2条)

2. 2021年度活動方針

国内外での権威主義の台頭や民主主義の退潮に警戒し、一層の市民社会スペースの擁護と拡充に努めるとともに、そのために必要な組織・運営基盤の強化に取り組む。

3. 2021年度活動計画（太枠は新規活動）

活動項目	活動内容	担当	協働者・団体
(1) 市民社会スペースへの理解促進と拡充のための活動	(1-a) 市民社会スペースに関する日常的な情報提供の実施 ※メールリスト、ウェブサイト等により実施する。	全員	構成団体 賛同団体
	(1-b) 市民社会スペースの現状と課題の周知・理解を広げるためのシンポジウムの実施（秋期予定）	全員	両弁護士 等
(2) 市民社会スペースに関する法制度や政策、社会状況や課題に対する監視、提言、抗議活動	(2-a) 国内外の市民社会スペースの状況に関するモニター及び声明等の発出〔重点対象〕(国内)特定秘密保護法、共謀罪法、市民社会への政治的圧迫・萎縮（海外）香港、ミャンマーなど、権威主義の台頭や民主主義の破壊、市民社会への圧迫・弾圧が強まっている国・地域	加藤 全員	構成団体 賛同団体 各分野の NGO/NPO VUCA! 等
	(2-b) 国連自由権規約委員会対日審査への継続対応 (NGO 共同報告書の提出(追加報告書の提出含む)、ロビイング、対日勧告を活用した国内向けアドボカシー等)	谷山 小泉 加藤	NCFOJ
(3) NGO の対応力強化のための情報収集、情報共有、学習活動	(3-a) 秘密保護法対策弁護士・共謀罪対策弁護士との共同による「弾圧研究会」の実施（7/26(月)19～21時予定） ※両弁護士や構成団体・賛同団体等の NGO の参加のもとに、市民社会スペースに関わる「弾圧」や「圧迫」の事案を検討しつつ、今後の具体的な対応を想定する。	谷山	両弁護士 構成団体 賛同団体
	(3-b) 緊急時の対応ポイント(家宅捜索対応等)の資料整備 構成団体・賛同団体等 NGO への周知・普及 ※NANCiS ウェブサイトへの掲載や、各地での勉強会・学習会資料として使用できるように整えておく。	西井	

(4) NGO が被害を被った際の対応活動	(4-a)「緊急時初動対応リスト」を踏まえた、緊急時の対応体制の整備	谷山	両弁護士 構成団体
	(4-b) NGO への緊急時対応および、日常的な相談・支援も含めた包括的なサポート体制の事業化	加藤	構成団体 賛同団体 等
(5) 他分野の市民社会組織との連携活動	(5-a) 各活動内容での他分野の市民社会組織との連携強化 〔重点活動〕(2-a) (2-b) (3-a) など	各活動 担当者	各活動の 協働者・団体
	(5-b) CIVICUS および VUKA!、CoD 等を通じた、世界規模での市民社会スペース擁護に向けた国際連携	谷山 堀内 JANIC	CIVICUS VUKA! CoD
(6) 組織・運営基盤の強化	(6-a) NGO 相談・支援・救援活動の事業化のための初期資金確保及び持続的な資金確保に向けた検討	加藤 全員	
	(6-b) NANCiS 全体の活動の持続化・円滑化のための資金及び各種リソース確保に向けた検討	全員	

以上